

# 基礎的研修・職場適応援助者養成研修 カリキュラム比較

【基礎的研修】カリキュラムイメージ

No	科目	形態	内容	時間(分)
①	就労支援の理念・目的、障害者雇用の現状と障害者雇用・福祉施策	講義	<ul style="list-style-type: none"> <li>○就労支援の理念と目的(支援者としての共通した目的、福祉的就労と一般就労)</li> <li>○障害者福祉施策(就労系障害福祉サービス)の体系や概要</li> <li>○国の障害者雇用施策の体系や各種制度</li> <li>○国の障害者雇用の状況</li> <li>○雇用施策と福祉施策との連携(福祉・教育・医療から雇用への流れ)</li> <li>○就労支援の基本的な考え方(働くことの意義の理解、就労支援の視点、支援者の役割と資質、企業の視点の理解)</li> </ul>	80
②	就労支援のプロセスⅠ(インテーク～職業準備性の向上のための支援)	講義	<ul style="list-style-type: none"> <li>○就労支援のプロセスと手法(支援の基本的姿勢、アセスメントから一般就労への移行の過程)</li> <li>○インテーク、アセスメント、プランニング</li> <li>○職業準備性の考え方、職業準備性の向上のための支援</li> </ul>	50
③	就労支援のプロセスⅡ(求職活動支援～定着支援)	講義	<ul style="list-style-type: none"> <li>○就職のための支援(ハローワークの活用、企業開拓、企業へのアプローチ等)</li> <li>○職場定着・雇用継続のための支援(障害者・企業双方への支援、実施方法、留意事項、福祉施策の活用や連携)</li> <li>○加齢等に伴う雇用から福祉への移行</li> </ul>	50
④	就労支援機関の役割と連携	講義	<ul style="list-style-type: none"> <li>○就労支援を実施している機関の役割と業務内容(ハローワーク、地域障害者職業センター、障害者就業・生活支援センター、就労系障害福祉サービス(就労移行支援事業所等)、医療機関、教育機関等)</li> <li>○就労支援ネットワークについて(ネットワークの重要性、ネットワークの構造・構築の手順等)</li> </ul>	60

【職場適応援助者養成研修】

No	科目	形態	内容	時間(分)	対象JC
③	職場適応援助者の役割	講義	<ul style="list-style-type: none"> <li>○職場適応援助者の制度と役割</li> <li>○職場適応援助者の支援の流れ</li> <li>○職場における障害者の権利擁護(障害者権利条約、合理的配慮等)</li> <li>○守秘義務と情報の共有化</li> </ul>	60~120	共通・訪問型・企業在籍型
			<ul style="list-style-type: none"> <li>○訪問型/企業在籍型職場適応援助者の役割</li> <li>○支援者の視点やアプローチの手法、支援のプロセス</li> <li>○ケース会議の開催と留意事項(訪)</li> </ul>	60~120	
⑦企	社会福祉の現状	講義(見学)	○障害者自立支援法における就労の位置付け・障害の概念、社会福祉の視点等(可能であれば、就労移行支援事業所等の見学を行う)	60~180	企業在籍型
①・②	職業リハビリテーションの理念と就労支援のプロセス	講義	<ul style="list-style-type: none"> <li>○職業リハビリテーションの基本理念</li> <li>○就労支援のプロセスにおける職場適応援助者の役割と活用</li> </ul>	60~120	共通
⑬	地域における関係機関の役割とネットワークの活用	講義	<ul style="list-style-type: none"> <li>○雇用、福祉、教育、医療等地域の関係機関の役割</li> <li>○関係機関の役割分担と連携のあり方</li> <li>○関係機関への情報提供の仕方</li> </ul>	60~120	共通

※下線部はR3年改正箇所

# 基礎的研修・職場適応援助者養成研修 カリキュラム比較

【基礎的研修】カリキュラムイメージ

No	科目	形態	内容	時間(分)
⑤	障害特性と職業的課題Ⅰ(身体障害、高次脳機能障害、難病)	講義	○身体障害・高次脳機能障害・難病の職業的課題、特性に即した支援方法、留意事項、合理的配慮の事例	60
⑥	障害特性と職業的課題Ⅱ(知的障害、発達障害)	講義	○知的障害・発達障害の職業的課題、特性に即した支援方法、留意事項、合理的配慮の事例	60
⑦	障害特性と職業的課題Ⅲ(精神障害)	講義	○精神障害の職業的課題、特性に即した支援方法、留意事項、合理的配慮の事例	60
⑧	労働関係法規の基礎知識	講義	○労働契約上の留意点(労働契約の締結、労働時間、休憩、休日、賃金、解雇等) ○法律上企業等に加入が義務づけられている労働保険・社会保険	60
⑨	企業に対する支援の基礎	講義	○企業で働くとは ○企業を支援することの重要性 ○障害者雇用をめぐる企業を取り巻く状況(障害者の差別禁止・合理的配慮の提供義務等) ○企業支援のプロセス及び支援手法(企業情報・ニーズの把握、企業内での理解促進への支援、職務の切り出し、地域資源の活用) ○企業支援の留意点(企業との信頼関係の構築、企業担当者のメンタルヘルスに関する支援等)	60
⑩	ケースマネジメントと職場定着のための生活支援・家族支援	講義	○就労支援におけるケースマネジメントの重要性 ○生活支援・家族支援の進め方(支援方法、対応例) ○生活支援・家族支援における企業と支援機関の役割分担と連携 ○ライフステージや生活の変化に対応した支援の必要性	60

【職場適応援助者養成研修】

No	科目	形態	内容	時間(分)	対象JC
④	障害特性と職業的課題	講義	○障害特性と職業的課題【身体障害(視覚、聴覚、肢体不自由、内部障害)、知的障害、精神障害(高次脳機能障害、若年性認知症を含む)、発達障害、難病】 ○障害特性に応じた支援方法、就業支援事例(可能であれば、障害当事者の話を聞く機会を設ける。)	180~300	共通
⑤	就労支援に関する制度	講義	○障害者雇用施策の概要 ○労働基準法、最低賃金、労働安全衛生法等基本的な労働関係法規の概要 ○活用できる助成金制度の概要	60~180	共通
⑦訪	企業文化の理解	講義(見学)	○企業経営の基礎 ○企業の視点や企業文化の理解(可能であれば、企業の見学を行う)	60~180	訪問型
⑭	ケアマネジメントと職場定着のための生活・家族支援	講義	○ケアマネジメントの理念 ○職業生活を支える支援の考え方と方法 ○家族への支援の考え方と方法 ○職業生活支援における企業の役割と関係機関との連携	60~180	共通

※下線部はR3年改正箇所

# 基礎的研修・職場適応援助者養成研修 カリキュラム比較

【基礎的研修】カリキュラムイメージ

No	科目	形態	内容	時間(分)
⑪	アセスメントの基礎	講義 演習	<p>【講義】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○相談を行う上での基本的態度や傾聴等の相談技法等</li> <li>○アセスメントの目的と心構え</li> <li>○実施方法と留意事項</li> <li>○結果の分析ポイントと活用の仕方</li> </ul> <p>【演習】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○グループワーク。</li> <li>○モデル事例に即して、アセスメントにおける対象者への聞き取りや観察の内容について検討。また、把握した情報に基づき、対象者の就労に向けた課題や支援のポイント・方法について整理。</li> </ul>	100
⑫	企業における障害者雇用の実際	講義	<ul style="list-style-type: none"> <li>○企業の障害者雇用の担当者からの講義。</li> <li>・企業における障害者雇用の考え方や実際(障害者である社員が従事している職務の内容、雇用管理の方法、職場内支援体制、合理的配慮の内容等)。</li> <li>・企業が求める人材(採用時に重視すること、雇用継続に向けて重視すること等)。</li> <li>・支援者に求めること。</li> </ul>	60
⑬	地域における就労支援の取組	意見交換・事例検討	<p>【意見交換】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○グループワーク。</li> <li>①受講者の所属機関における各種支援の取組、②関係機関との連携、ネットワークの活用状況、①②に関連するテーマについて意見交換。</li> </ul> <p>【ケーススタディ】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○グループワーク。</li> <li>○モデル事例の内容に基づき、対象者や企業、家族への支援の内容や関係機関との連携などについて検討。</li> </ul>	90
⑭	オンライン形式での講義の振り返り	講義	<ul style="list-style-type: none"> <li>○オンライン形式の講義のポイントの復習。</li> <li>○オンライン形式の講義の質疑応答。</li> </ul>	50
合計時間 900分				

【職場適応援助者養成研修】

No	科目	形態	内容	時間(分)	対象JC
⑧	アセスメントの視点と支援計画に関する理解	講義 演習	<ul style="list-style-type: none"> <li>○アセスメントの視点と方法</li> <li>○支援計画の意味、内容と活用方法</li> <li>○支援計画作成のためのアセスメント、プランニングの方法</li> <li>○面接・面談のポイント</li> <li>○フォローアップ計画の意味と活用方法(訪)</li> </ul>	60~120 120~240	共通、訪問型・企業在籍型
⑥	職場における雇用管理	講義	<ul style="list-style-type: none"> <li>○事業所における障害者の雇用管理の現状と課題</li> <li>○就労支援における企業のニーズ</li> </ul>	60~120	共通
⑮	ケースから学ぶジョブコーチ支援の実際	事例研究	○ジョブコーチ支援の一連のプロセスを含むモデル事例を通じ、支援の方法を学ぶ	120~240	共通

※下線部はR3年改正箇所

# 基礎的研修・職場適応援助者養成研修 カリキュラム比較

【基礎的研修】カリキュラムイメージ

No	科目	形態	内容	時間(分)
----	----	----	----	-------

【職場適応援助者養成研修】

No	科目	形態	内容	時間(分)	対象JC
⑨	企業へのアプローチと事業所における調整方法	講義 演習	○企業へのアプローチ方法 ○事業所への働きかけと調整方法	120～ 240	訪問型
	事業所内における調整		○事業所内における管理者、社員への理解の促進 ○ケース会議等を通じて関係者と合意形成を図る方法の理解		企業在籍型
⑩	事業所での支援方法の基礎理解	講義 演習	○具体的な支援の流れと方法 ○職場環境アセスメント ○職域開拓と職務の再構成 ○ナチュラルサポートの形成 ○ストレスの把握と対処の重要性	180～ 360	共通
⑪	職務分析と行動観察、作業指導	講義 演習	○職務分析、工程分析 ○作業指導における行動観察とフィードバック ○わかりやすい伝え方 ○ジグや道具の活用と作業改善の提案	240～ 360	共通
⑫	支援記録の作成	講義 (演習)	○支援記録の作成方法と活用方法	60～180	共通
⑬	事業所における職場適応援助者の支援の実際	実習	(必要に応じて、1時間程度の事前指導を行う) ○事業所実習・事業所における雇用管理の理解 ○事業所のアセスメント演習 ○仕事の伝え方、職務分析等の実習(可能であれば、障害当事者の話を聞く機会を設ける)	420～ 480	共通
合計時間 2,520分(JEED)					
※JEED:うち集合研修分 1,590分。うち実技研修分930分。					

※下線部はR3年改正箇所